

科目名	観光とジェンダー						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	文化学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	奥野 圭太郎, 藤高 和輝						

授業概要／Course outline

観光産業や観光という文化現象をジェンダー／セクシュアリティという切り口から分析します。あるいは、ジェンダーやセクシュアリティについての理解を「観光」というテーマを通して深めると言い換えることもできるでしょう。ジェンダーとは「社会的・文化的に作られた性」のことを指します。ある文化圏では「当たり前」のことも、別の文化圏では必ずしもそうではありません。異文化に触れることが自文化を相対化するように、文化と深く結びついたジェンダーも〈文化間の移動〉を通して新たな気づきをもたらすかもしれません。この授業では「観光」を〈文化間移動〉の一種として捉え、その観点からジェンダーを分析します。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- オンデマンド動画による授業があります。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第一回 イントロ：観光／移動とジェンダー【担当：藤高】授業コンセプトの説明／具体例を用いての導入。

第二回 日本社会とジェンダー【担当：藤高】ジェンダーの用語を解説しながら、日本社会におけるジェンダーについて考えます。

第三回 観光産業とジェンダー【担当：奥野】観光産業につきまとうジェンダー・イメージを取り上げ、観光をジェンダーの観点から考える機会を作ります。また、観光産業がジェンダーとどのように関連しているのか、具体的な事例を挙げながら考察します。

第四回 労働とジェンダー（１）【担当：藤高】 第三回でみてきた観光産業におけるジェンダーの問題に関して、「労働とジェンダー」の観点から考察します。

第五回 労働とジェンダー（２）【担当：藤高】 第五回の議論をさらに深めて考察します。

第六回 ジェンダー、観光、視線のポリティクス【担当：藤高】「視線」をキーワードに観光とジェンダーの相互の関連を分析します。

第七回 中間テスト【担当：藤高】：「労働／ジェンダー」の観点から観光産業を取り巻く状況を考える。

第八回 観光／移動と「LGBT」【担当：藤高】後半部のイントロにあたります。セクシュアリティ等の用語解説も行います。後半の授業の目的を事例を挙げながら解説します。

第九回 旅先で出会うジェンダーの問題【担当：奥野】旅行中によく出会うジェンダー絡みのトラブル（持つ・持たれる先入観など）についての事例を挙げて考察します。

第十回 移動とジェンダー／セクシュアリティ【担当：藤高】「観光」という〈文化間移動〉とジェンダー／セクシュアリティの交わりについて考察します。

第十一回 オリンピックと「LGBT」表象【担当：藤高】オリンピックというグローバルなスポーツ・メガイベントを〈文化間移動〉またはそれによる〈折衝〉として捉え、とくにそこで「LGBT／ダイバーシティ」言説がどのように働いているのかを考察します。また、オリンピックをはじめ、「LGBT」がマーケティングの対象となり、市場化されている趨勢があります。このような現象を批判的に紹介・解説します。

第十二回 「LGBT」と商業主義（１）【担当：奥野】「LGBT」の商業化に関して、そのメリットの側面を取り上げ、考察します。

第十三回 「LGBT」と商業主義（２）【担当：藤高】「LGBT」の商業化の問題点を取り上げ、商業化の趨勢に批判的なクィア理論を紹介・解説します。聴講する学生皆さんの方では両者の考察を受け、自分なりの考えを作る機会としてもらいたいです。

★オンデマンド動画 総括【担当：藤高】これまでの内容を振り返ります。

第十四回 期末テスト【担当：藤高】 「ダイバーシティ／LGBT」言説について考える。

事前・事後学修／Preparation and assignments

※事前学習は各授業２時間、事後学習も各授業２時間必要です。下記の内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うようにしてください。

第一回 イン트로ダクション【担当：藤高】

【事前学習】シラバスを読んでおいてください。

【事後学習】「観光」と「ジェンダー」がどうかかわるのか考え、今後知りたいことなどを書き出す。

第二回 日本社会とジェンダー【担当：藤高】

【事前学習】日本社会におけるジェンダーの問題を調べておいてください。

【事後学習】授業で紹介した文献を読んでください。

第三回 観光産業のジェンダー・イメージ【担当：奥野】

【事前学習】観光産業にどんなジェンダー・イメージがあるか調べておいてください。

【事後学習】講義を受けて、他にどのようなジェンダーの問題があるか、調べて、書き出してみてください。

第四回 観光産業とジェンダーの実情【担当：奥野】

【事前学習】前回の授業内容を復習しておいてください。

【事後学習】講義を受けて、その背景にある社会の問題とは何かを考えてみてください。

第五回 労働とジェンダー（１）【担当：藤高】

【事前学習】労働とジェンダーの関係について自分の考えをまとめておいてください。

【事後学習】授業を受ける前と後での変化を文章化してください。

第六回 労働とジェンダー（２）【担当：藤高】

【事前学習】コミュニケーション労働が求められるのはなぜか、自分の考えをまとめてみてください。

【事後学習】授業中に紹介した文献を読んでください。

第七回 中間テスト【担当：藤高】

【事前学習】これまでの授業資料を熟読してください。

【事後学習】中間テストを経て、学んだ内容を振り返ってください。

第八回 観光／移動と「LGBT」【担当：藤高】

【事前学習】あらかじめ性自認・性指向・恋愛指向などの言葉を調べておいてください。

【事後学習】授業を受け、自分の認識がどうだったかを振り返ってください。

第九回 旅先で出会うジェンダーの問題【担当：奥野】

【事前学習】旅行中に出会うジェンダーにはどのようなものがあるか考えてみてください。

【事後学習】旅とジェンダーの関わりについて文章にして自分の考えをまとめてみてください。

第十回 移動とジェンダー／セクシュアリティ

【事前学習】海外のレインボー・パレードの状況についてインターネットなどを駆使して調べてみてください。

【事後学習】授業中に紹介した文献をお読みください。

第十一回 オリンピックと「LGBT」表象【担当：藤高】

【事前学習】東京オリンピックを振り返り、その問題点を考えてみてください。

【事後学習】授業中に紹介した文献をお読みください。

第十二回 「LGBT」と商業主義（１）【担当：奥野】

【事前学習】「LGBT」と「商業」がどう結びつくのか、インターネットなどを駆使して具体例を考えてみてください。

【事後学習】「LGBTの商業化」に関して、そのメリットをまとめてみてください。

第十三回 「LGBT」と商業主義（2）【担当：藤高】

【事前学習】前回の資料も読みながら「LGBTの商業化」に関するメリットを振り返り、その上でどのような問題点があるのか、考えてみてください。

【事後学習】授業資料を復習し、紹介した文献などをお読みください。

★オンデマンド動画 総括【担当：藤高】

【事前学習】これまでの授業資料を復習しておいてください。

【事後学習】「観光」と「ジェンダー／セクシュアリティ」の関わりに関して、最終課題を通して自分の考えをまとめてください。

第十四回 期末テスト【担当：藤高】

【事前学習】これまでの授業資料を熟読してください。

【事後学習】期末テストを経て、学んだ内容を振り返ってください。

授業の到達目標／Expected outcome

「観光」という身近な文化現象を「ジェンダー」という観点から考えることで、「身近なもの」の背景にある社会の問題を見出す批判的思考力を養うこと。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|-------|---------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 倫理性 | 【文化学部 京都文化学科】 |
| | ・ 文化の多様性の理解 |

履修上の注意／Special notes, cautions

とくにありません。

評価方法／Evaluation

中間テスト（50％）、期末テスト（50％）

教 材／Text and materials

授業中に指示します。

質問や相談の方法／Instructor contact

個別のご相談には対応します。藤高の方にメール（kazukin@cc.kyoto-su.ac.jp）やチャットでお願いします。